

製品名: ENSA ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe01950**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 13 kDa; Observed MW: 13 kDa

抗原情報

遺伝子名	ENSA
別名	ARPP-19e
遺伝子 ID	2029
SwissProt ID	O43768
免疫原	ヒト ENSA の合成ペプチド

背景

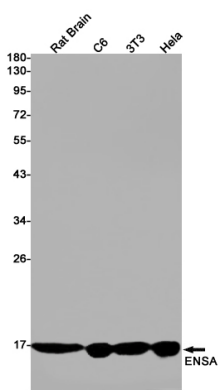
有糸分裂期におけるタンパク質ホスファターゼ 2A (PP2A) を特異的に阻害するタンパク質ホスファターゼ阻害剤。有糸分裂期に

Ser-67 がリン酸化されると、PPP2R2D (PR55-delta) と特異的に相互作用し、その活性を阻害することで PP2A の不活性化を引き起こし、M 期におけるサイクリン B1-CDK1 活性を高く維持するために不可欠な条件となる。また、スルホニル尿素受容体 (ABCC8) と相互作用することでインスリン分泌を刺激し、スルホニル尿素が受容体に結合するのを阻害し、K(ATP)チャネル電流を減少させる。

研究分野

神経科学

画像データ



ENSA 抗体を使用したラット脳、C6、3T3、Hela 溶解物中の ENSA のウエスタン ブロット分析。